

教科	生活	単元名	元気にそだて、大きくそだて
----	----	-----	---------------

本時のねらい

- ・ミニトマトの成長を観察し、記録する。
- ・これまでの記録と比べて、その変化に気づく。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・観察した内容を、ロイロノートのテキストカードに観察メモとして記録する。
- ・観察メモに、タブレットで撮影した写真を複数載せることができる。
- ・以前に自分が記録したテキストカードと並べることで、育て始めたころと今を比較して成長に気づくことができる。
- ・ミニトマトの変化がわかるように記録し、成長の様子を確かめることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレットPC (iPad)
- ・授業支援ソフト (ロイロノート)
- ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	・今までの観察記録文の中で、面白い表現や、詳しく観察できているものを読む。	・過去の観察メモや記録文は、電子黒板に映すことができ、また、児童がロイロノートの提出箱の回答を共有することができるので、児童が自分のタブレットを使って詳しく見ることができる。
展開 (30分)	・ミニトマトを観察し、ロイロノートのテキストで観察メモをつくる。 ・観察メモをロイロノートに提出する。 ・以前に作成したノート整理の中の「一番目の観察メモ」と「今日の観察メモ」を、同じテキストカードに並べ、気付いたことを書く。	・観察メモは、自分の選んだ項目について、記入することができ、オリジナルの項目を追加することもできる。 ・観察メモには写真を複数枚追加することができるので、見せたい場所が複数あっても表現できる。 ・提出された観察メモを共有することで、表現方法の参考にできる。 ・自分の観察メモを2枚横に並べて、細かい点まで比較できる。
まとめ (10分)	・気付いたことを発表して、共有する。 ・記録の始めからの変化を確かめ、ミニトマトの成長の様子を知る。	・発表された内容を、教員のロイロノートにまとめていくことで、本時の振り返りが可視化される。 ・変化の様子を見とることができるので、成長の順序も確認しやすい。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：ロイロノートで観察メモをしている場面



写真2：国語科「かんさつ名人になろう」では記録文を原稿用紙に書き、メモアプリでスキャンして、観察メモと共に、ロイロノートに整理している。(デジタルポートフォリオ)

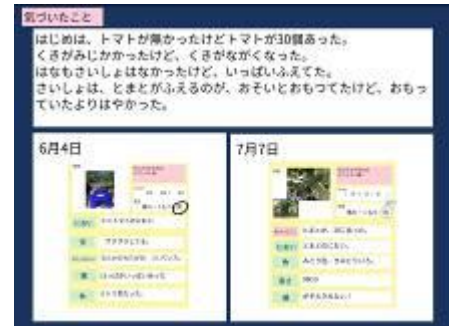


写真3：いちばんはじめの観察メモと、最後の観察メモを比較し、見つけた変化を書いたワークシート

児童生徒の反応や変容

- ・ミニトマトの観察を始めたときの記録文と、最新の観察メモをタブレット上で隣同士に並べると、すぐに写真同士を大きく表示して、その違いを細かに観察している児童がいた。
- ・観察メモに書いた「色」「数」などの観察の観点を比べて違いに気づく児童や、写真同士を比べて視覚的な違いから細かな変化に気づく児童がおり、同じ活動をしていても児童の思考過程が違うことがそれぞれわかった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

これまでの観察記録は、観察カード入れに入れて保存する形式が多く、掲示板などに最新のものが掲示されており、上書きされたような状態になっていた。デジタルポートフォリオは、それまでの記録を横並びで振り返ることができるため、最初と最後の比較も容易に行うことができる。

また、苗植えをしたときから、葉が増え、茎が伸び、花が咲いて、花が枯れ、実ができていく様子の、観察メモをつなげることで、プレゼンテーションとして児童が説明する活動もできた。